

前回懇談会での意見への対応について

- ①【意見】 サクランボが高温障害で収穫が減となっているが対策を講じてほしい。

【対応方針】 令和6年10月から、県と連携し「さくらんぼ高温対策緊急支援事業」(県1/2、市1/6)により、高温対策に必要な設備・資材の導入等に係る費用の一部を補助している。また、令和7年度もさくらんぼ高温対策技術の推進に係る支援の継続を予定している。

- ②【意見】 農業に取り組もうとしている若者への支援をしてほしい。

【対応方針】 来年度、若者への支援として、国・県・市が連携し、人材育成確保や生産振興に係る補助事業を設定している。具体的には、人材育成確保の面で経営開始に係る費用の一部を支援するほか、生産面では気象災害対策技術の開発・普及並びに生産性を高める機械・施設の導入への支援を予定している。

- ③【意見】 地域に喫茶店が少ない。ゆ〜Townに若者が来るように喫茶スペースを設置してはどうか。食堂が終わる15時から閉館までとか、個室利用でもよいので、こしやってマルシェのよなこだわりの喫茶店を開いてはどうか。

【対応方針】 ゆ〜Townは3月末で食堂が閉店することになった。その分空いたスペースができるため、ゆっくりくつろげるカフェスペースの設置を検討している。既存の自販機にも良質なコーヒーを提供するものもあるが、認知されていないため積極的にPRするほか、休日に市内のコーヒー店や飲食店が物販などを行う企画も検討している。

- ④【意見】 ゆ〜Townでキッズスペースの設置はいいと思う。櫛引には子どもが遊ぶ場所がない。この地域は冬季間は外で遊ぶことができない。なべっこ広場も遊具が少ないためすぐに飽きる。ゆ〜Townの大広間に遊具を置いて遊べるところを作ってはどうか。他所にないものを作って、良かったら近隣からも訪れる。一時的な利用策だけではなく、ファミリー層が何度も行けるようなものにしてはどうか。山添高校の利用の話もあったが難しいので、予算を付けてゆ〜Townを利用してつくってほしい。

【対応方針】 R7年度には授乳、おむつ替え室の設置を予定しており、ファミリー層を受け入れる体制を整えている。今後のファミリー層の利用状況や、老朽化が進んでいる施設の状況も踏まえて検討していきたい。

- ⑥【意見】 スキー場は冬場だけの使用でもったいない。アスレチックを作って通年利用できるようになるといい。みんな何処にでかけたらいいか悩んでいる。外にでかけることができると、子育ては楽しくなる。折角ある財産なので、ファミリー層の手助けになる施策をお願いしたい。

【対応方針】 スキー場では、通年利用について幾度となく検討し試みてきたが、打開策が見出せない状況となっている。今後も意見を伺いながら、費用対効果に見合う検討をする。ほのかたらのきだいの指定管理者との協議も進めていく。また、市長・副市長の親子で遊べるフィールド、賑わいづくりを民間がしてくれる環境整備というコメントも加味して、ゆ〜Town では市内の飲食店などが物販を行う企画により、賑わいづくりを創出することを検討している。また、現在受け入れ体制の整備によるファミリー層の誘客を図っており、こどもの遊び場についても、利用状況や、老朽化が進んでいる施設の状況も踏まえて検討していきたい。くしびきゆ〜Town 管理運営組合は、地域密着型組織として、「地域住民の意見・要望を管理運営にできる限り反映させる」と管理運営基準に定めていることから、関係会議などへ参加してもらうことで、地域づくりに関わっていく機会を創出したい。

- ⑥【意見】 ゆ〜Town に喫茶店を開く前に SNS で若い人の意見を求めてはどうか。

【対応方針】 ゆ〜Town は 3 月末で食堂が閉店することになった。その分空いたスペースができるため、ゆっくりくつろげるカフェスペースの設置を検討している。このスペースは櫛引庁舎と管理運営組合がスペース活用のための暫定的な方策のため、今後地域の方の意見を求めることで、より良い空間としていく予定。

- ⑦【意見】 ゆ〜Town の 2 階への階段が不潔に見える。「来て良かった」をつくるためにどうすべきか。1 年間をどう動かすか。過去がどうであったか、どうしていけば良いか。

【対応方針】 ゆ〜Town の 2 階への螺旋階段については、令和 4 年度にサビ取りと再塗装を行ったが、鉄分の多い温泉成分が付着して不潔に見えている状況のため、炭による螺旋階段の湿気対策を検討している。効果を見極めながら、今後塗装する色を変更するなどし、利用者の「来て良かった」をつくりだしていきたい。

- ⑧【意見】 スキー場の夏利用のため、「ほのか」にピザ窯があり、飲食、宿泊もできた。老朽化と経営方針もあると思うが、なぜ維持できなくなったのか理由を考えなければならない。行政は経営のシビアさが分からない(得意ではない)。今何が必要か、1年間どう動かすか、過去がどうであったか、どうしていけば良いか。

【対応方針】 櫛引たらのきだいスキー場と湯殿山スキー場は、それぞれのシーズン券購入者が、割引による相互利用が可能となっている。市内 3 スキー場のリフト券をゆぽか、ゆ〜Town、ぼんぽで提示すると、割引価格での入浴可。今後も連携による相乗効果を図る取組を実

施していきたい。通年利用について幾度となく検討し試みてきたが、打開策が見出せない状況となっている。今後も意見を伺いながら、費用対効果に見合う検討する。ほのかたらのきだいの指定管理者と協議も進めていく。

- ⑨【意見】 ゆ〜Townで、これからどういう客を呼び込むのか。常連客がどの位いるのか。年間（または半年）パスポートが出せるのか、実験するなり検討してもよいのではないか。条例上どうなのか。

【対応方針】 年間パスポートについては、日帰り温泉の所管庁舎で検討した。スキー場と比べて対象日数が多いこともあり、急な休館や、購入者の健康状態により温泉に来られなくなった場合の返戻など金銭の取扱いが困難なことから、既存の一箇月券で固定客への対応ができていることから、現行どおりとした。

- ⑩【意見】 湯殿山スキー場はスキー学校、たらのきだいスキー場はナイターが魅力となっているが、地元の利用が少ない。これからどういう客を呼び込むのか。常連客がどの位いるのか。実験するなり検討してもよいのではないか。

【対応方針】 市街地からのアクセスがよく、ナイター設備も整備されていることから、ファミリーや初心者向けとなっている。今後はインバウンド観光客の取込みに注力していく。3スキー場共通チラシを市内小中学生に配布し、公共施設等にポスターを掲示している。櫛引地域全戸に櫛引たらのきだいスキー場のチラシを配布している。

- ⑪【意見】 スキー場は景色がいい。年間通して誘客できるような企画をしてはどうか。花を植えたり、山菜ゲレンデにしたり、坂の利用なども考えられる。季節によって景色が違う。地元と共に自然を有効に活用していけばと思う。

【対応方針】 通年利用について幾度となく検討し試みてきたが、打開策が見出せない状況となっている。今後も意見を伺いながら、費用対効果に見合う検討する。ほのかたらのきだいの指定管理者との協議も進めていく。

- ⑫【意見】 ゆ〜Town やスキー場に行くきっかけとして、そこに行かないと食べられないスペシャルメニューや買えないもの、写真映えするところがあればと思う。人を集める方法は重要。情報発信の仕方は、SNSによってターゲットが違うので考えて使ってほしい。

【対応方針】 ゆ〜Town ではオリジナルキャラクターのゆ〜たんに愛着を持ってもらえるように、ゆ〜たんのぬいぐるみと一緒に写真を撮る企画を行っている。今後も情報発信も含めて集客ができる企画を検討していく。

スキー場では圧雪車乗車体験や、スキー等を履かずにリフトに乗車し眺望を楽しんでもらうなど、独自のイベントを実施して集客に努めている。指定管理者から食堂のメニューを検討していただいている。SNSによる情報発信に取り組んでおり、今後も充実させていきたい。

⑭【意見】 スキー場は何かのイベントの企画があれば人が来ると思う。

【対応方針】 スキー場では1月と2月に来場者サクスデーを開催し、様々な企画により集客を図っている。

⑮【意見】 個々の施設で全て揃えるのは無理が出るので、スキー場、湯殿山、ゆ〜Townと連携して、地元にお金が落ちるようにしてはどうか。閑散期と混雑期で料金を変えるなど、年間パスポートも柔軟的な価格にして、ゆ〜Townとスキー場との抱き合わせチケットもいいのではないかな。パンフを相互に置いて、スキー場にきた時食べに行ける店を紹介してはどうか。

【対応方針】 市の日帰り温泉3施設では、スキー場利用者がリフト券を提示することで、入浴料を割引しており、効果を上げている。今後も連携をより強めていく。

株式会社ユキヤマが提供しているアプリを活用して、市内3スキー場で合計10km以上滑走した方に景品を進呈する取組を行っている。櫛引たらのきだいスキー場と湯殿山スキー場は、それぞれのシーズン券購入者が、割引による相互利用が可能となっている。

⑯【意見】 記念館での柏戸の朗読劇が好評だった。広く市民にも柏戸の苦勞を知ってもらいたいので、タクトで開催してほしい。

【対応方針】 関係団体と協議を行い、可能性を探っていく。

⑰【意見】 デマンド交通はとてもいい事業なので、継続してもらいたい。

【対応方針】 R6.11.18から本格運行を開始した(運輸局認可済)

⑱【意見】 赤川に鮭稚魚の放流事業を南小学校で行っているが、未来事業にならないか。

【対応方針】 サケ遡上の検証段階であったことから、櫛引地域振興計画における具体的な施策としては組み込んでいない。今後、サケの遡上が確認され、効果が実証された際には、実施団体や地域関係者の意向を伺った上で、地域振興計画の見直しも検討していく。